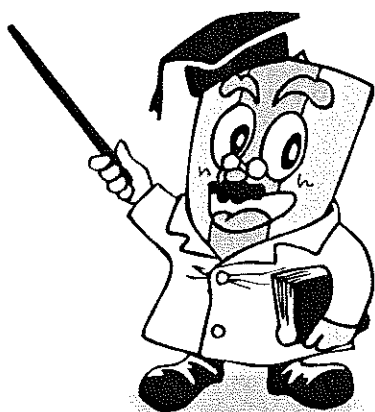
ユノカ電気温水器

標準圧力型 **高圧力型**

給湯専用電気温水器（丸形）

取扱説明書

No.239

このたびは、ユノカ電気温水器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、保証書、工事説明書とともに、いつでも見られるところに大切に保管してください。

保証書別添付　工事説明書別添付

- 保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめて、販売店からお受け取りください。
- この電気温水器は契約方法により『季時別電灯／時間帯別電灯契約』『深夜電力契約』のいずれでも契約できますが、『深夜電力契約』でご使用の場合は「沸き増し」が利用できません。
- この電気温水器は申請によって、通電制御型として料金割引が適用されます。電気料金制度についてのくわしいことは据付工事店（販売店）または最寄りの電力会社に、ご相談ください。
- 高圧力型電気温水器を事務所、店舗などでご使用される場合は、労働安全衛生法の規定があり、特別な対応が必要です。必ず、販売会社担当部門にお問い合わせください。

（同梱されている「事業者さまへのご案内」を必ずお読みください）

KYUHEN

■「季節別電灯／時間帯別電灯」対応型
■深夜電力通電制御型（8時間）
共用

品　番

標準圧力型

SM830B-H08（タンク容量：300L）
SM837B-H09（タンク容量：370L）
SM846B-H10（タンク容量：460L）
SM855B-H11（タンク容量：550L）
SM837BW-H12（タンク容量：370L）
SM846BW-H13（タンク容量：460L）
SM855BW-H14（タンク容量：550L）

高圧力型

UM837B-H15（タンク容量：370L）
UM846B-H16（タンク容量：460L）
UM855B-H17（タンク容量：550L）

もくじ

安全のために必ずお守りください。

ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
工事説明書も必ず据付工事店（販売店）から受け取ってください。

■誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

記号	意味
⃠	禁止
	分解禁止
	接触禁止

記号	意味
	アース線接続
	指示にしたがう

（本体表示）

⚠	感電注意
⚠	高温注意
⚠	発火注意

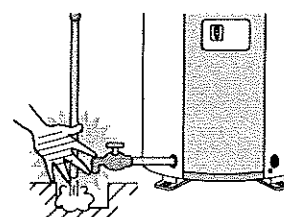
⚠警告

給湯時は湯水混合栓に手を触れない

やけどをすることがあります。

給湯レバーを開くと湯水混合弁からお湯が出ます。給湯レバーは、少しずつ開いてください。特に、朝の使いはじめは空気の混ざった熱湯が出ることがあります。

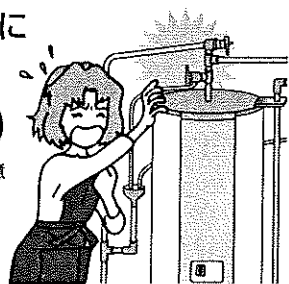
排水時はお湯に手を触れない

やけどをすることがあります。

逃し弁点検時は配管に手を触れない

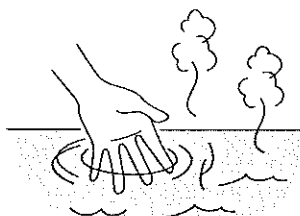
やけどをすることがあります。

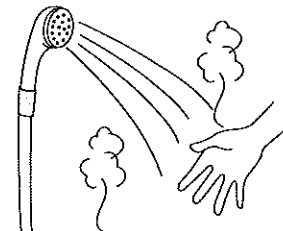
改造をしない

修理技術者以外の人は分解・修理をしない

分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

入浴するときは、浴槽の温度を確かめる

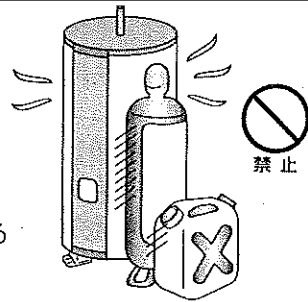
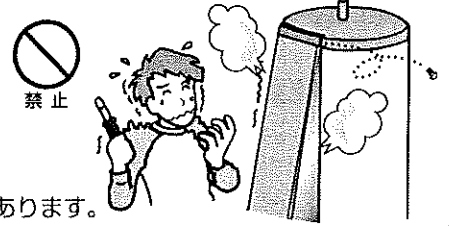
やけどをすることがあります。

シャワー使用時は、湯温を確かめる

やけどをすることがあります。

⚠ 警告

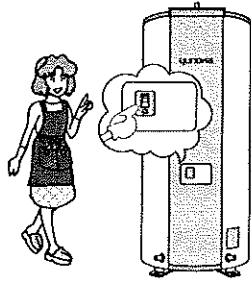
近くにガス類や引火物を置かない

置くと、発火・火災になることがあります。

前面カバーを開けない

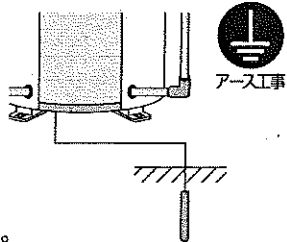
禁止

開けると、感電することがあります。

漏電しゃ断器の動作を確認する(17ページ)

故障のまま使用すると、感電することがあります。

異常時(こげ臭い)は、漏電しゃ断器のレバーを下げて電源を「OFF」にし、お買い上げの販売店へ連絡する

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

アース取付は、据付工事店(販売店)へお問合せください。

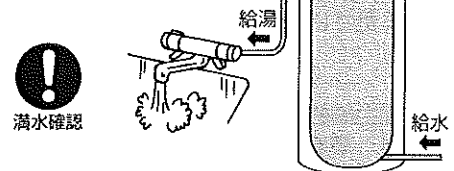
⚠ 注意

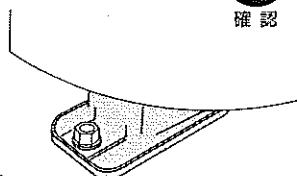
そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。
- 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水は、雑用水としてお使いください。

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

通電はタンクを満水にしてから行う(→8ページ)

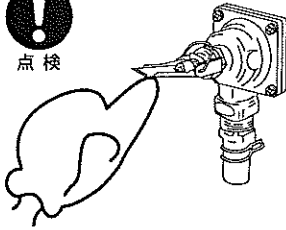
満水にならないうちに通電すると、ヒーターが加熱して故障の原因になります。

脚(3箇所)がアンカーボルトで固定されているか確認する

固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

安全のために必ずお守りください。（つづき）

⚠ 注意

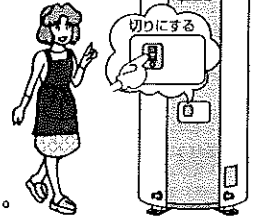
逃し弁を点検する

点検

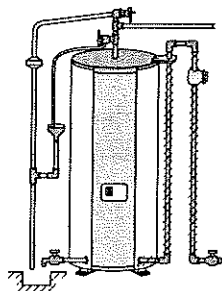
点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

1か月以上使用しないときは、電源を「OFF」にしてタンクの排水をする

（→15ページ）

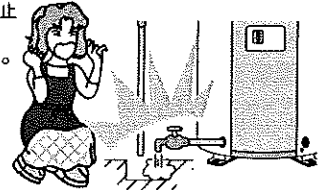
電源確認

排水をしないと水質が変化することがあります。

凍結防止対策を確認する

確認

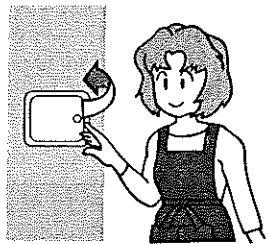
凍結するとタンクや配管が破裂して水漏れでやけどをすることがあります。

タンクの熱湯を直接排水しない

禁止

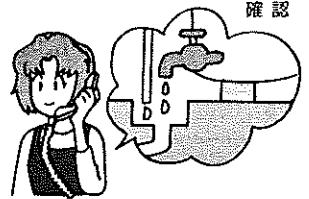
やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

操作カバーは閉じる

（→5ページ）

確認

開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する

確認

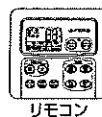
処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

ご使用にあたってのお願い

電力契約種別を確認する

この商品は、契約している電力種別によって一部ご利用いただけない機能が※があります。
ご使用の電力契約種別を据付工事販売店にご確認ください。

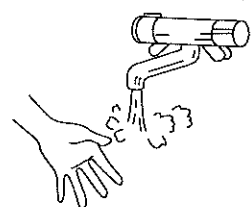
※深夜電力契約でお使いのお客さまは、沸き増し機能（→11ページ）をご利用できません。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、リモコンで時刻を合わせ直してください。（→9ページ）

時刻がずれていると、タンク内を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

お湯の上手な使い方

●シャワーは必要なときだけ

●流し洗いはぬるめの温度で

特長

温水器本体

選べる料金制度

この電気温水器は、契約方法により「季時別電灯/時間帯別電灯」対応通電制御型と深夜電力通電制御型のどちらでも使用でき、申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。

「時間帯別電灯」対応通電制御型

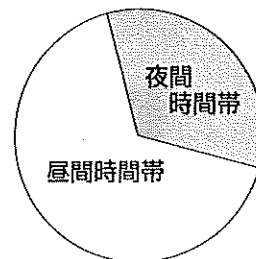
ご家庭のすべての電力を昼間時間帯と夜間時間帯に分けて電力料金を計算します。

●夜間時間帯が8時間と10時間タイプが選べます。

※「季時別電灯/時間帯別電灯」の契約ではリモコン（別売）が必要となります。

「深夜電力通電制御型」(8時間)

翌日使用するお湯を23時～7時の間に沸かしておく電気温水器に適用される料金制度です。
料金は昼間の約1/3です。

※「深夜電力」の契約ではリモコンなしとありが選択できます。

オプション（別売）

リモコン（品番:TF0257）

便利なお知らせタイマー

1.お知らせタイマー機能 (→12ページ)

設定された時間でアラームを鳴らします。
キッチンタイマーやお風呂のお湯張りのアラームとして利用すると便利です。
（お買い上げ初期は1分が設定されています）

昼間の沸き増し機能でお湯不足を解消

2.沸き増し機能 (→11ページ)

「季時別電灯/時間帯別電灯」契約でご利用される場合、昼間時間帯に必要に応じて温水器のお湯を沸き増しすることができ、万一お湯の不足を防ぐことができます。※深夜電力契約ではご利用できません。
（お買い上げ初期は沸き増し設定はされていません）

頼れる機能でうっかり操作を防止

3.操作ロック機能 (→13ページ)

リモコンに設定された内容を誤って変更されるのを防ぎます。
（操作ロック中はロック前の設定によって作動します）

8:08

ムダな電力をカット

4.バックライト切替機能 (→13ページ)

リモコンを使用しないときに、表示部のバックライトを消すとムダな電力をカットできます。
（お買い上げ初期は常時点灯状態になっています）

各部のなまえとはたらき

本体

給湯口
お湯の出口です

操作カバー

前面カバー
工事や点検の時だけ取り外します。内部に充電部があって危険ですので、お客さまは絶対に取り外さないでください。

漏電しゃ断器
万一漏電したときに作動してヒーター回路をしゃ断します。

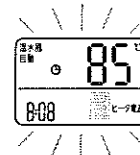
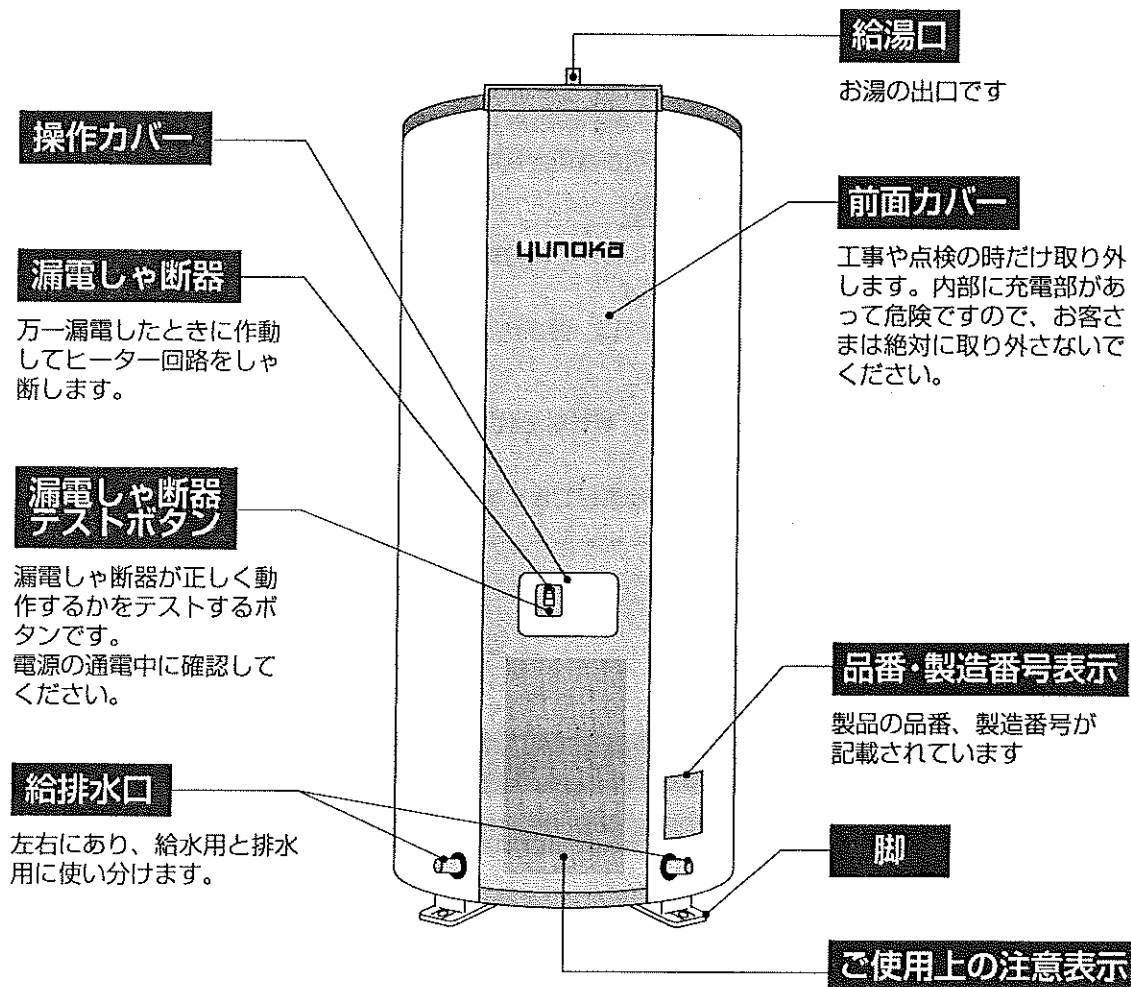
yunoka

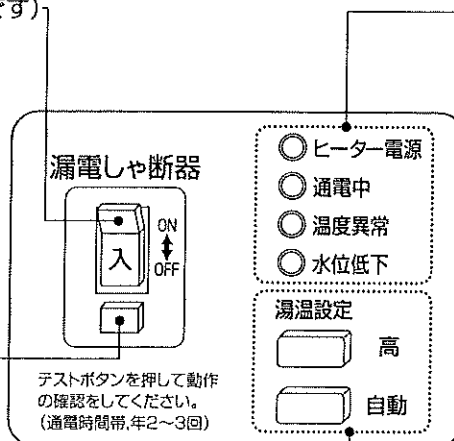
漏電しゃ断器テストボタン
漏電しゃ断器が正しく動作するかをテストするボタンです。
電源の通電中に確認してください。

品番・製造番号表示
製品の品番、製造番号が記載されています

給排水口
左右にあり、給水用と排水用に使い分けます。

脚

ご使用上の注意表示

本体操作部

漏電しゃ断器（550Lは2個です）
電源レバーを「ON」・「OFF」します。
使用中は常に「ON」にしておきます。

表示灯
ヒーター電源：ヒーター電源用200VがONのときに点灯します。（緑色）
通　電　中：タンク沸き上げ中に点灯します。（緑色）
温 度 異 常：異常温度を検知したときに点滅します。（赤色）
水 位 低 下：温水器へ水が供給されていないとき（断水や凍結など）に点滅します。（赤色）
※水位低下表示灯は、高圧力型のみ装備しています。

テストボタン
漏電しゃ断器が正しく動作するかを確かめるボタンです。（→17ページ）

湯温設定ボタン
リモコンが接続されていないときに湯沸かし温度を設定するボタンです。
（→10ページ）

リモコン（別売）

※説明のため、画面は必要な箇所を表示させてあります。

表示部

タイマーセットスイッチ（→12ページ）

タイマースタートスイッチ（→12ページ）

時刻設定スイッチ（→9ページ）

湯温設定スイッチ（→10ページ）

湯温表示スイッチ（→13ページ）

バックライトスイッチ（→13ページ）

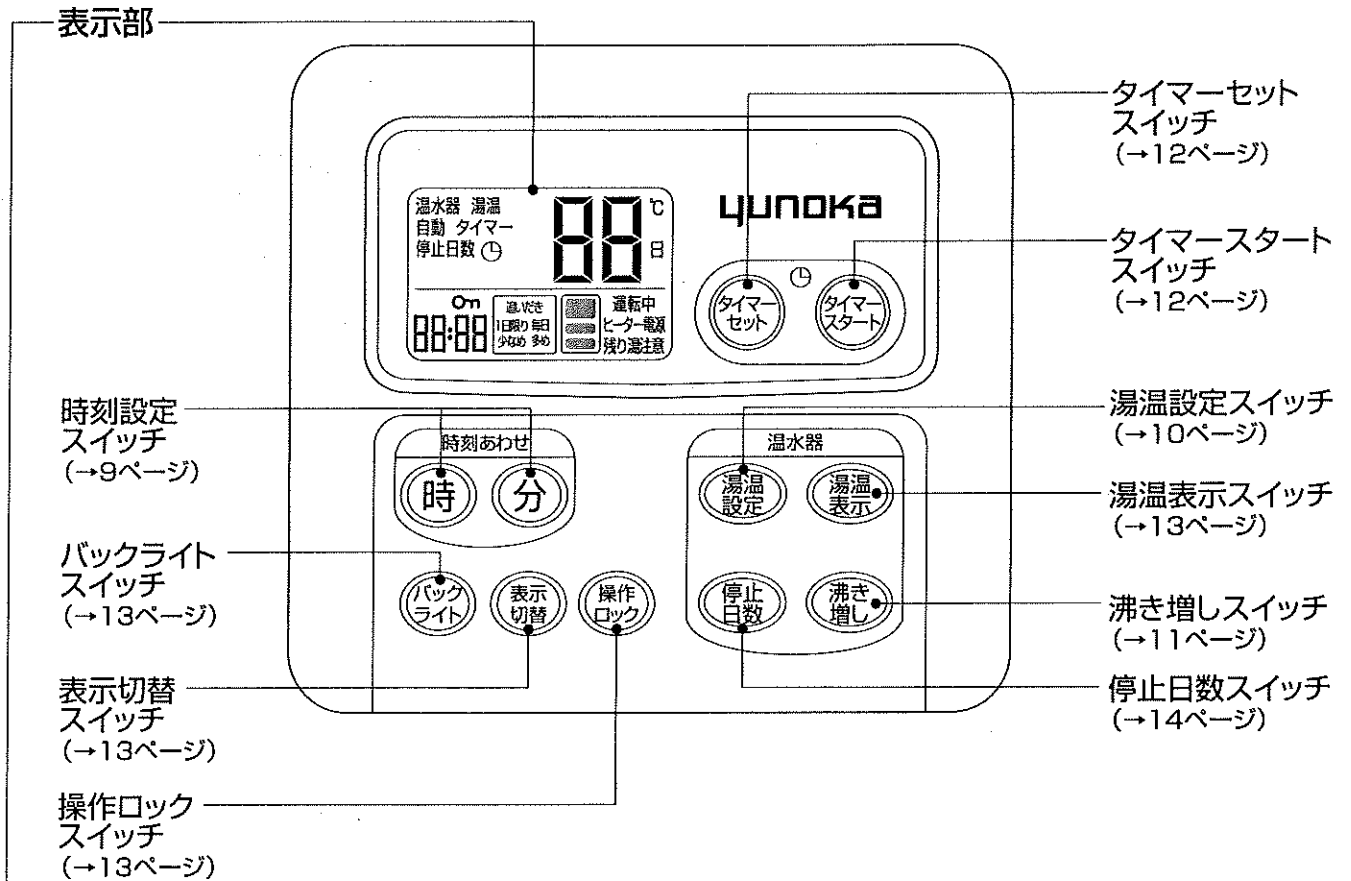
沸き増しスイッチ（→11ページ）

表示切替スイッチ（→13ページ）

停止日数スイッチ（→14ページ）

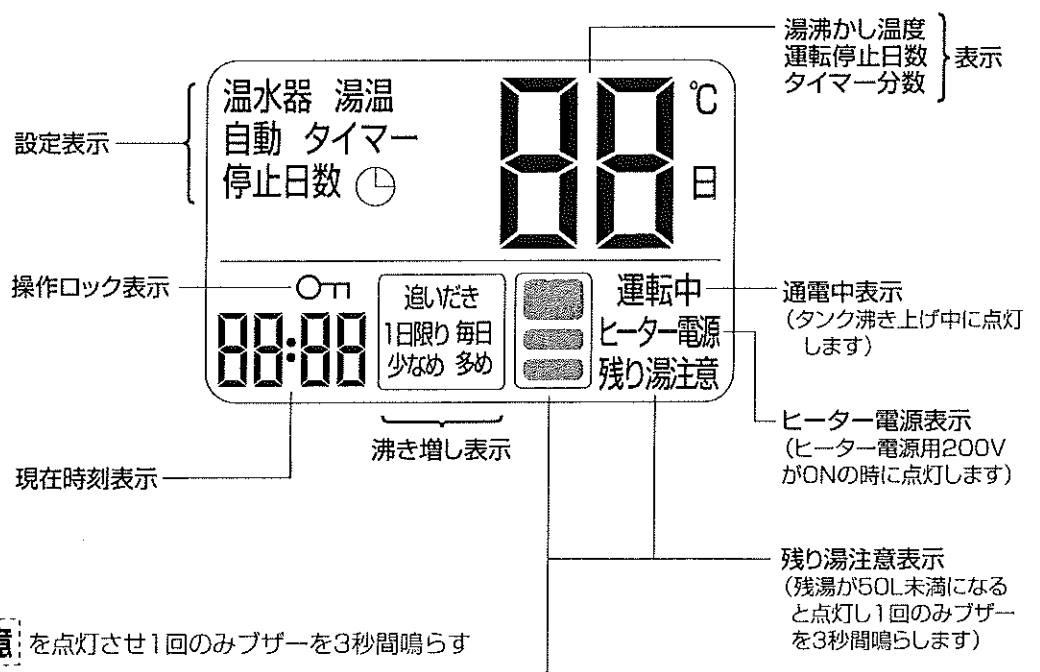
操作ロックスイッチ（→13ページ）

yunoka

温水器 湯温
自動 タイマー
停止日数
88 ℃ 日
88:88
追いだき 1日限り 毎日 少なめ 多め
運転中 ヒーター電源 残り湯注意
タイマーセット タイマースタート
時刻あわせ 時 分
温水器 湯温設定 湯温表示
バックライト 表示切替 操作ロック
停止日数 沸き増し

表示部

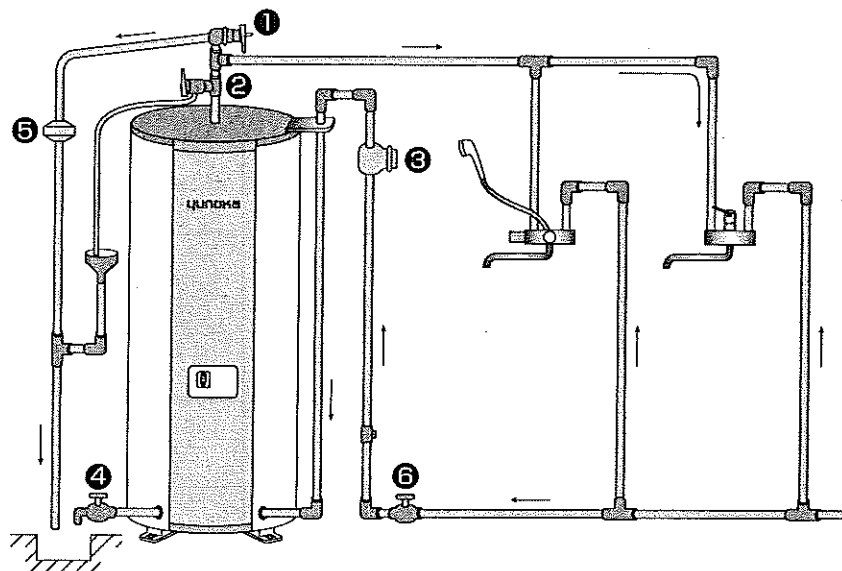
残湯表示の見方

表示	残湯量（目安）（50℃以上）
	150L以上
	100L以上
	50L以上
残り湯注意	50L未満

残り湯注意 を点灯させ1回のみブザーを3秒間鳴らす

お願い リモコンは、防水タイプではありません。水をかけないでください。故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき（つづき）

本体周辺部

水栓は温水混合栓を使用してください。
また、浴室では、やけど防止のため、サーモスタット付温水混合栓を使用してください。

❶ 逃し弁
湯沸かし中の膨張水を少しずつ逃がして、タンク内の圧力が上がり過ぎるのを防ぎます。

❷ 一般用逃し弁（安全弁）
万一逃し弁が故障したとき逃し弁の代りに動作します。
（高圧力型は排水栓に内蔵されています。）

❸ 減圧弁
タンクへの給水圧を一定にします。

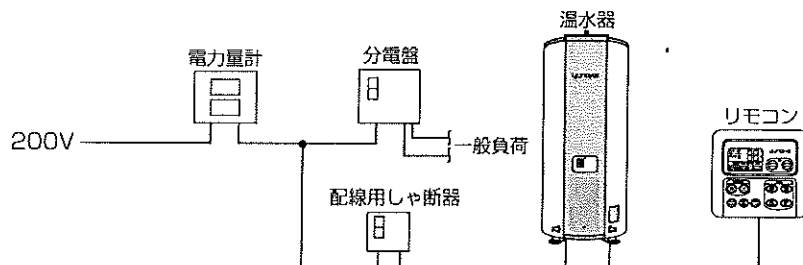
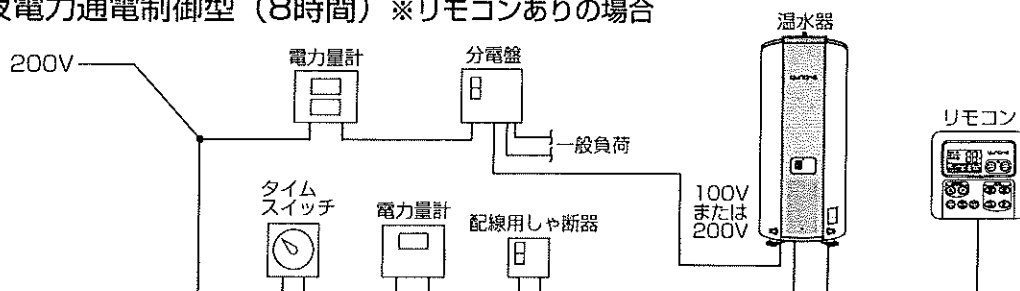
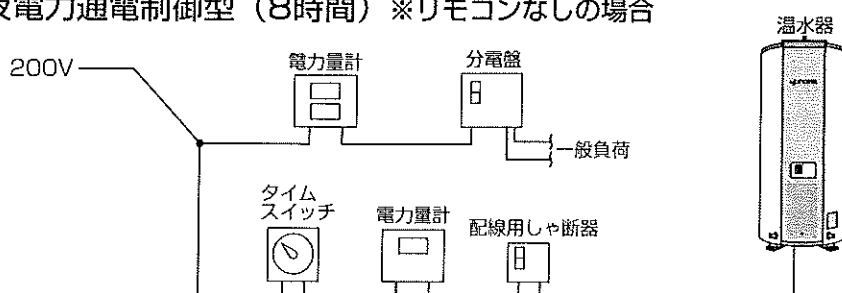
❹ 排水栓
タンク内の水を排水するときに操作します。
使用中は、閉めておいてください。

❺ ホッパー
排水管が凍結したときにも逃し弁からの膨張水が排出できるようにします。

❻ 温水器専用止水栓
タンクへの「給水」「止水」用に使います。必ず専用に取付けます。
使用中は開いておいてください。

配線例

配線は、契約した電力制度で異なります。電力制度については、据付工事店（販売店）にご確認ください。

■「季時別電灯／時間帯別電灯」対応通電制御型

■深夜電力通電制御型（8時間）※リモコンありの場合

■深夜電力通電制御型（8時間）※リモコンなしの場合

準備

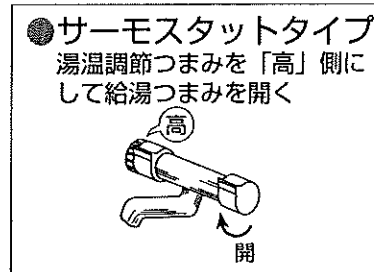
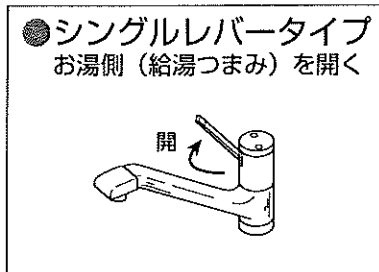
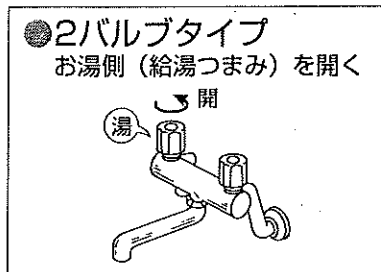
使い始めは、次の手順で操作します。

1.温水器のタンクを満水にする

①給湯つまみを開く　操作の方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。

●2バルブタイプ
お湯側（給湯つまみ）を開く

●シングルレバータイプ
お湯側（給湯つまみ）を開く

●サーモスタットタイプ
湯温調節つまみを「高」側にして給湯つまみを開く

②温水器専用止水栓を開く

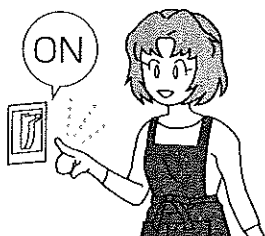
タンクが満水になると湯水混合栓の蛇口から水がでます。
満水までのめやすは約30分～40分です。（タンク容量や水圧により多少異なります。）

③満水になったら、給湯つまみ（レバー）を閉じる

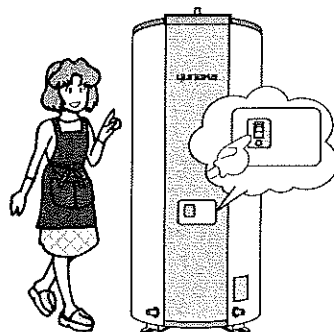
温水器タンクが満水になると湯水混合栓より水が出ます。しばらく流し洗いをし、給湯つまみ（レバー）を閉じます。

2.温水器の電源を入れる

①配線用しゃ断器を「ON」にする

（深夜電力通電制御型のリモコンありでご利用される場合は分電盤の配線用しゃ断器も「ON」にしてください）

⚠注意
通電はタンクを満水にしてから行う

②本体の操作カバーをあけ、漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする

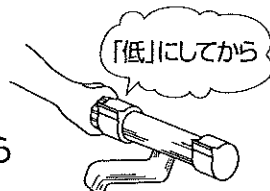
（550Lは2個です）

⚠注意
操作カバーは閉じておいてください。
ショート・感電することがあります。

3.温水器の設定をする

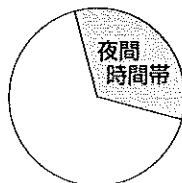
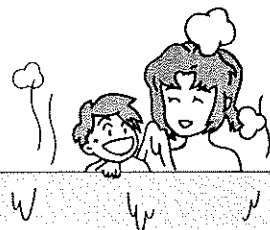
リモコンありの場合
①リモコンの時刻を合わせる（→9ページ）
②リモコンから温水器の沸き上げ湯温を設定する（→10ページ）

リモコンなしの場合
①温水器本体から沸き上げ湯温を設定する（→10ページ）

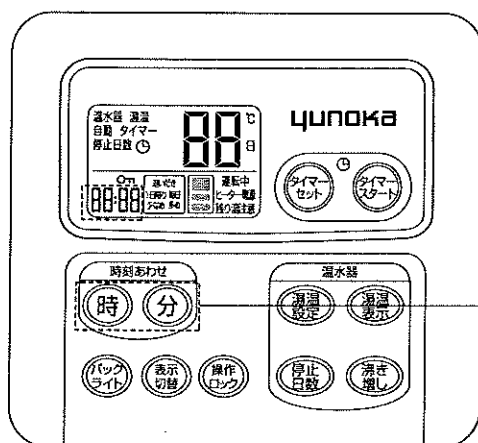
4.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。
やけど防止のため、湯水混合栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き使用します。

入浴時のお願い

入浴は、できるだけ夜間時間帯（リモコンの「通電中」が表示されているとき）を避けて連続して行うようにしてください。

夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなり、お湯がたりなくなることがあります。

夜間時間帯は、地域によって異なります。

時刻を合わせる

※リモコン（別売）がない場合は設定の必要はありません。

温水器のお湯を沸かすために時刻を合わせます。
時刻を設定しないと、沸き上げできない場合があります。
また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

リモコン

1 時 分 どちらか1ヶを3秒以上押す

表示部 88:88

お買い上げ時（初期通電時）や2時間以上の停電後は、88：88が点滅しますので手順2から始めてください。

表示が点滅中に

2 時 分 を押して時刻を合わせる

時 を押すと1時間ずつ、表示部の数字が進みます。

分 を押すと1分間ずつ、表示部の数字が進みます。

スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。

表示部 14:05 （例）午後2時05分

約5秒間経過すると時刻が点滅から点灯に変わり、時刻設定が完了します。

表示部 14:05

お願い

- 時刻の精度は、月差で約1分間です。時刻が進んだ場合や遅れた場合は、時刻を合わせ直してください。正しく合わせても大幅に時刻がずれてしまう場合は、据付工事店にご連絡ください。

- 約2時間以上の停電があった場合や長時間電源を「OFF」にしていた場合、表示部は「88：88」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。

お知らせ

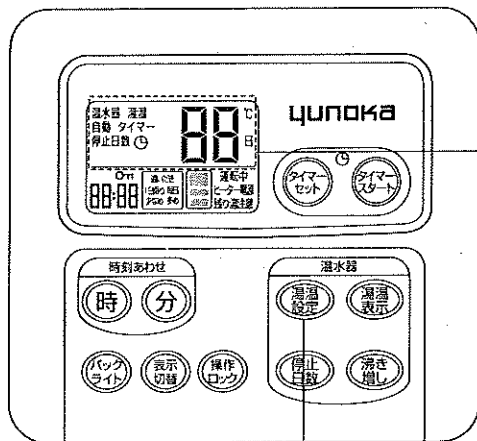
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12：00」を夜の12時の場合は「0：00」を表示します。

温水器の湯温を設定する

リモコン（別売）を使って温水器の湯温を設定する

使用湯量に合わせて、翌日の温水器の沸き上げ湯温を設定します。

お買い上げ時の設定……自動（85℃）
設定できる温度…………自動、90℃、85℃、80℃、75℃、70℃、65℃、

リモコン

湯温設定スイッチ

1 湯温設定を押す　押すごとに、温水器の湯温設定表示が切り換わります。

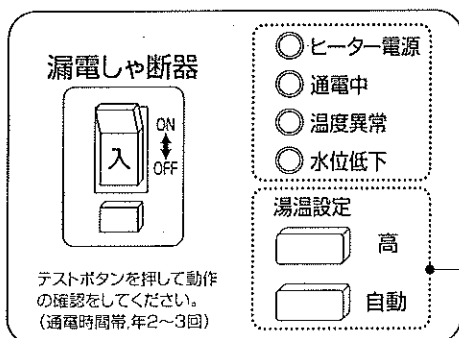
自動⇒90℃⇒85℃⇒80℃⇒75℃⇒70℃⇒65℃

湯温設定表示	湯温の仕様状態
90℃	●初めて使うとき ●お湯をたくさん使うとき（冬季）
85～75℃	●中間季
70～65℃	●お湯の使用量が少ないとき（夏季）
自動	●毎日のお湯の使用量が一定のとき

お知らせ

●「自動」は、過去の使用湯量と現在の給水水温から翌日の使用湯量を予測して、約65℃～約90℃の範囲で沸き上げ湯温を決定し、ムダなく効率的に沸き上げます。

直接温水器本体から湯温を設定する（リモコンなしの場合）

温水器本体の操作スイッチ

1 温水器本体の操作カバーを開く。

2 湯温設定の「高」または「自動」の押ボタンを押す。

設定はいつでも変更することが可能です。
両方のボタンが押されている場合、または押されていない場合は「高」が選択されます。

押ボタン	沸き上げ温度	お湯の使用状態
高	約90℃	●初めて使うとき ●お湯をたくさん使うとき（冬季）
自動	約65℃～約90℃	●毎日のお湯の使用量が一定のとき

お知らせ　●リモコン（別売）を接続されている場合は、温水器本体からの湯温設定は無効となります。

お知らせ

●湯温の目安は、沸き上げ直後のタンク内の湯温です。湯温設定に対して2～3℃ばらつくことがあります。また、湯温は時間の経過とともに少しずつ（1時間に約0.5℃～1℃）低下します。

お願い

●湯温設定「自動」でご使用の場合、来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に湯温設定を「90℃」に設定してください。

お湯をたくさん使う（沸き増し）

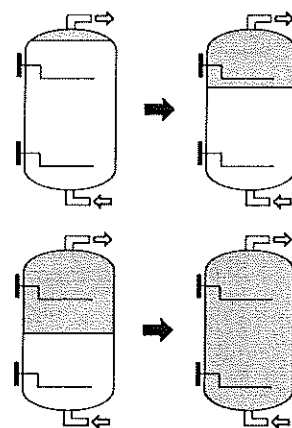
「季時別電灯/時間帯別電灯」の契約でお使いのお客さまへ

たくさんのお湯が必要なとき、あらかじめ別売リモコンの（沸き増し）スイッチを設定しておくと、昼間時間帯に必要に応じて温水器のお湯を沸き増しできるので、お湯がたりなくなるのを防ぐことができます。
（深夜電力契約でお使いのお客様は〈沸き増し〉機能はご利用できません）

※沸き増しは昼間電力でタンク内を沸き上げるので電気料金は割高になります。
お買い上げ時の設定…沸き増し設定はされておりません。

沸き増しのしくみ

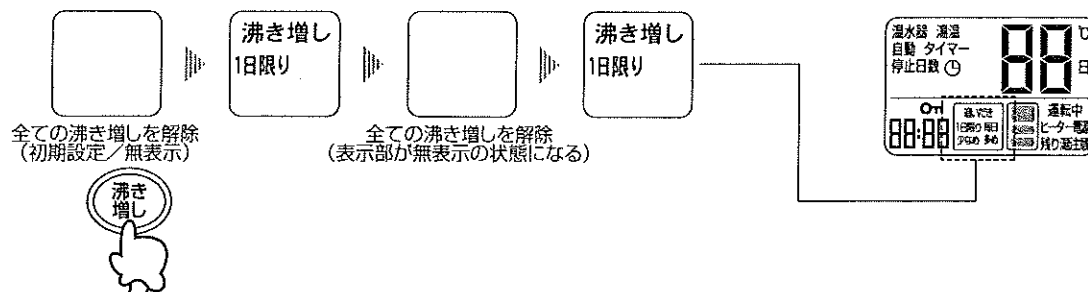
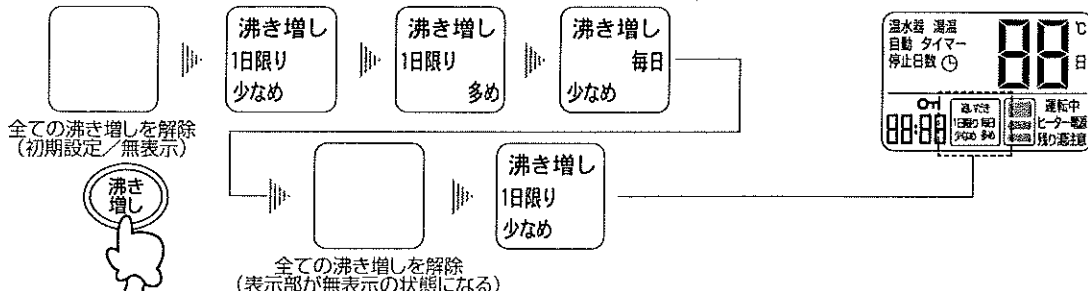
「少なめ」の沸き増し（2ヒータータイプのみ）
「少なめ」の沸き増しとは、タンク内のお湯が100L以下になると、上部ヒーターで常に120Lのお湯を沸かす機能です。

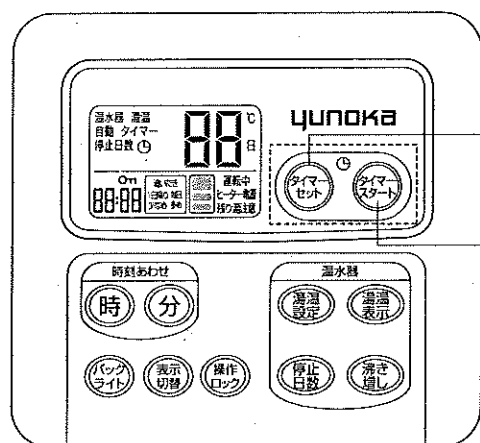
「多め」の沸き増し
「多め」の沸き増しとは、お湯を使用するたびに下部ヒーターでタンク内をお湯で満タンにしておく機能です。

沸き増し日数の設定

「1日限り」
設定したその日は何回でも、沸き増しをくり返します。
翌朝7：00なると自動的に解除されます。手動で解除する場合は「沸き増し」スイッチを押して、表示部を無表示にします。

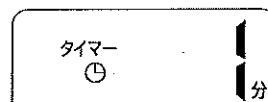
「毎日」（2ヒータータイプのみ）
設定したその日より、毎日沸き増しをおこないます。手動で解除するまで継続されます。手動で解除する場合は「沸き増し」スイッチを押して、表示部を無表示にします。
毎日の設定は「少なめ」のみとなります。

沸き増しの選定

リモコンの「沸き増し」スイッチを1回押すごとに下記の表示が表示部にあらわれます。

お知らせタイマーを使用する

リモコンで時間を設定し、時間が経過するとアラームを鳴らします。
キッチンタイマーや**お風呂の湯張りのアラーム**として使用すると便利です。
一度アラーム時間を設定すれば、その後はスタートスイッチを押すだけで使用できます。

リモコン

1 「タイマーセット」スイッチを押す

ピッ

表示部に タイマー 1分 が表示される

2 「タイマーセット」スイッチを押す毎に時間表示が

ピッ

1分
1 ⇒ 2 ⇒ 3 ……………… 29 ⇒ 30

切り換わる（1～30分の間で1分刻み）
「タイマーセット」スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。
お好みの時間を表示させます。

3 「タイマースタート」スイッチを押す

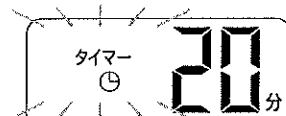
ピッ

タイマー 20分

、が点滅してスタートします。

4 点滅後、1分経過ごとに数字が減少します。

設定時間になると「ピピピピピッ…ピピピピピッ…」が約5秒間鳴ります。

5 設定時間が過ぎれば設定温度表示に戻ります。

解除：途中で解除する場合は「タイマースタート」スイッチをもう一度押す。

お願い

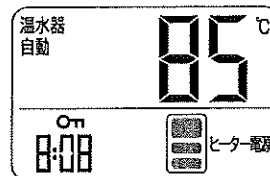
「タイマースイッチ（セット、スタート）」を押した後は、必ず表示部に設定された内容が表示されていることを確認してください。

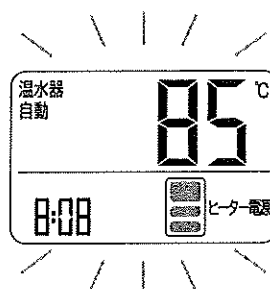
お知らせ

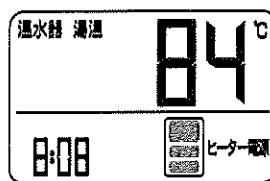
1度設定した時間は再度変更しない限り、保持されますので、次回からは「タイマースタート」スイッチを押すだけでタイマーがスタートします。

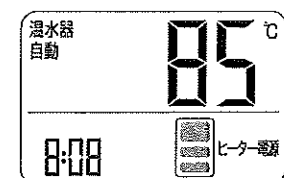
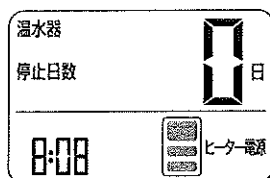
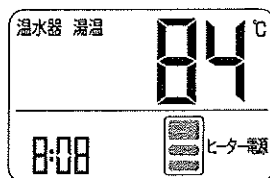
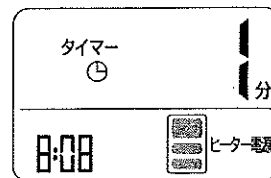
リモコン(別売)その他の機能

1.操作ロック機能

リモコンに設定された内容を誤って変更されるのを防ぎます。
(操作ロック中は前の設定によって動作します)
ロック方法…リモコンの「操作ロック」スイッチを3秒間押します。
(リモコンの表示部に「O⊓」のマークが点灯します)
解除方法……リモコンの「操作ロック」スイッチを3秒間押します。
(リモコンの表示部の「O⊓」のマークが消灯して解除されます)

2.バックライト切替機能

リモコンを使用しないときに、表示部のバックライトを消すことにより省エネができます。
(お買い上げ初期は常時点灯状態になっています)
切替方法……リモコンの「バックライト」スイッチを押すとバックライトが
消灯し、もう一度押すとバックライトを常時点灯します。
※バックライト消灯時は、リモコンの何れかのボタンを押されたときから
10秒間だけバックライトを点灯します。

3.湯温表示機能

温水器内の湯温を表示します。
操作方法……リモコンの「湯温表示」スイッチを押すと温水器内のお湯の温度を
リモコンに表示します。
(10秒間湯温を表示した後、温水器の沸き上げ設定温度の表示に
戻ります)

4.表示切替機能

設定された内容を見ることができます。(通常は温水器の沸き上げ設定温度「自動85℃」を表示します)
操作方法……リモコンの「表示表示」スイッチを押す毎に下記の内容を確認する事ができます。

温水器の沸き上げ設定温度

停止日数

温水器湯温表示

タイマーセット分数

(どの表示の時でも、10秒間表示した後、温水器の沸き上げ設定温度の表示に戻ります)

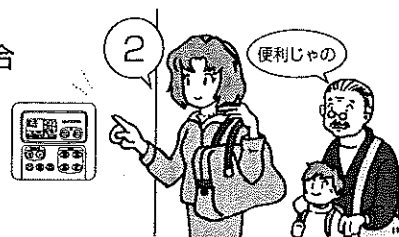
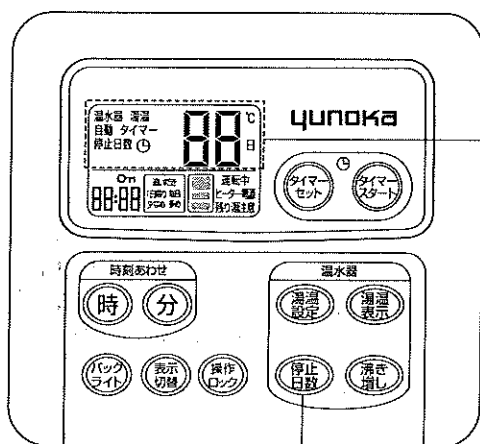
ある期間温水器の運転を停止する

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、温水器の運転を停止させることができます。

お買い上げ時の設定……なし
設定できる範囲……1日～15日

長期間使用しない場合は、15ページの方法で停止してください。

運転停止日数のきめ方

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合
3泊4日の旅行
出発日（10月1日）に停止日数3－1＝2を設定
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

1 停止日数 を押す（設定する日数が表示されるまで押します。）

停止日数 を押すごとに表示部の停止日数が進みます。
スイッチを押し続けると、連続して進みます。
取り消すときは日数を0にします。

0 → 1 → 2 → 3 …… 14 → 15

解除するとき

「停止日数」スイッチを押し、表示を0にします。

お知らせ ●「停止日数」の表示は、1日ごとに減っていきます。

長期間使用しないとき

1ヶ月以上、湯水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。

⚠注意

1ヶ月以上使用しないときは、
タンクの水を抜く
水質が変化することがあります。

※水抜きは、お湯をすてるムダを少なくするためにおふろなどに給湯するなど、多量のお湯を使用した後に行ってください。

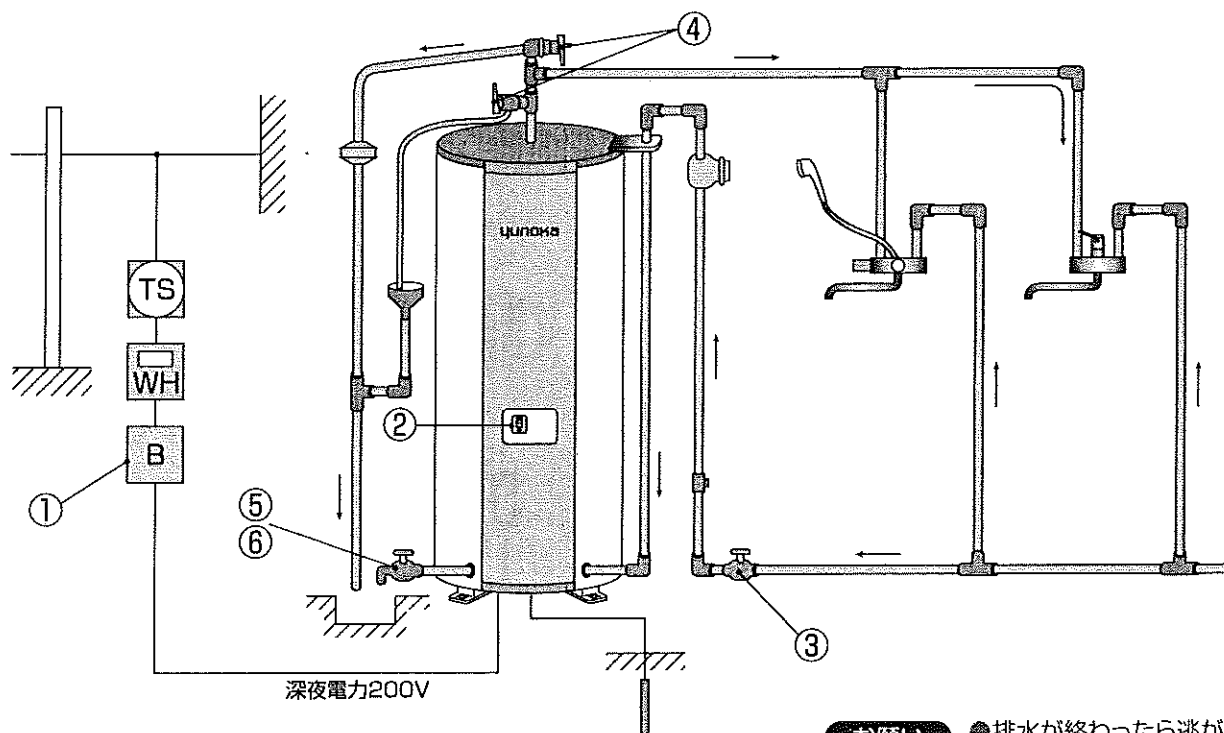
1 別置の深夜電力の200V配線しゃ断器①のレバーを「切」にします。

2 温水器正面にある、操作カバーを開け漏電しゃ断器②のレバーを「切」にします。

3 温水器専用止水栓③を閉じます。

4 逃し弁④又は、一般用逃し弁のレバーを上げます。

5 排水栓⑤を開けます。（熱いお湯が出る場合がありますので注意してください。）

6 排水が終わりましたら排水栓を閉じます。

お願い

●排水が終わったら逃がし弁のレバーを下げ、排水栓を閉じてください。

再び使用するとき…

逃し弁のレバーを下げ、排水栓が閉じていることを確認し、
準備（→8ページ）の手順を行ってください。

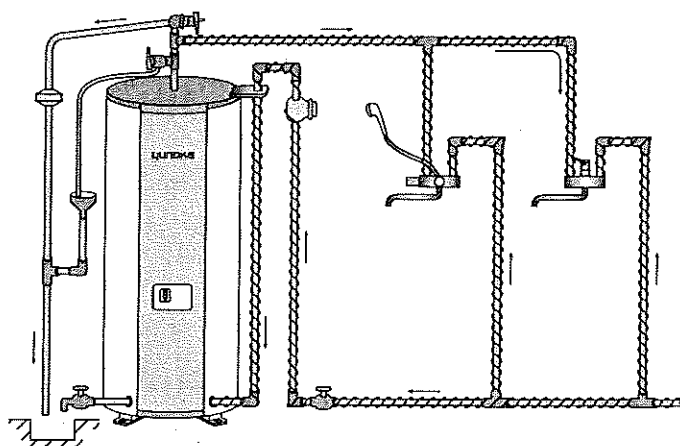
凍結防止をする

本体周辺の温度が0℃以下になると配管が凍結し、本体や配管が破損する場合があります。

凍結防止対策としては

⚠注意
凍結防止対策の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂して、水漏れややけどをすることがあります。

1 各給湯栓をほんの少し（糸を引く程度）開けて、お湯を出し放しにしておいてください。
（電気は、通電状態にしておいてください）

2 凍結防止ヒーターを巻いて防止する。
- ●凍結の恐れがある部分すべてに巻かれているか確認します。
- ●凍結防止ヒーターは、何本も使用されていますので、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。
- ●凍結しない季節は、安全のためにコンセントからプラグを抜いておきます。
- ●工事については、据付け工事店にご相談ください。

停電したとき

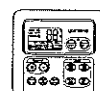
停電により**（2時間以上）**リモコンの時刻表示が「88：88」の点滅表示になった場合は、必ず正確な時刻を合わせ直してください。また、温水器の沸き上げ温度の設定が変わった場合は再度設定してください。

時刻

時刻を合わせてください。合わせないと沸き上げができない場合があります。また、正しい時刻に合わせていないと電気料金が割高になる場合があります。（→9ページ）

温水器の沸き上げ

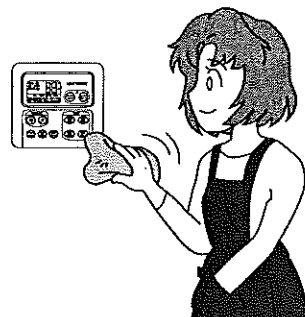
通電時間帯（夜間時間）に停電が発生した場合

- ●2時間以内の停電の場合は、停電終了後すぐにヒーターに通電され沸き上げを行います。
（この場合、設定温度まで沸き上がらない場合があります）
- ●2時間以上停電が続いた場合は、時刻を設定しないと沸かしませんので、必ず時刻設定をしてください。

点検とお手入れ

日常のお手入れ：リモコンのお手入れ

乾いた布で拭くか、台所洗剤をうすめて布に含ませて拭いてください。

お願い

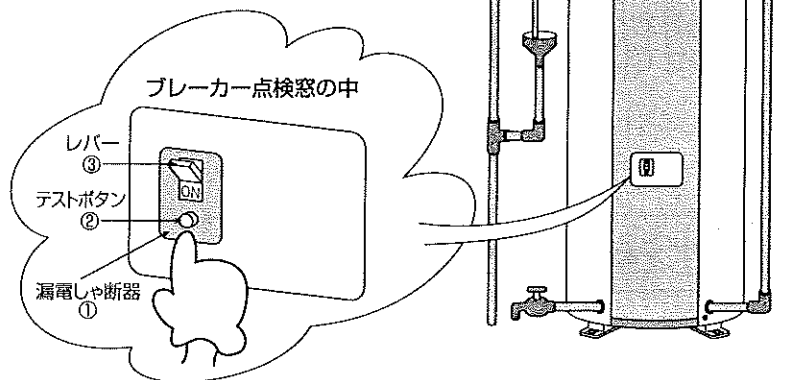
●ベンジンやシンナーなどの溶剤で拭くと変形や変色をおこすことがあります。
●リモコンには、水や汚水をかけないでください。
●リモコン内部には電気部品が入っているので、絶対にぬらさないでください。

年に2～3回：漏電しゃ断器の動作点検（550Lは2個です）

漏電しゃ断器の機能を十分に働かせるために、**年に2～3回は、動作テスト**を行って、正しく動作することを確認してください。

（深夜電力契約の場合は、テストは必ず深夜時間帯中に行ってください。昼間は電気が来ていませんので、テストしても動作しません）

手順は、次の通りです。

（1）温水器正面の操作カバーを開けてください。
（2）左側にある漏電しゃ断器①の、テストボタン②を押してください。
　　つまみ③が、「ON」から「OFF」に切り換われば正常です。
（3）つまみ③を「ON」に戻してください。
（4）操作カバーを閉めてください。

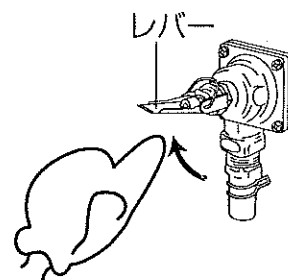
⚠警告
漏電しゃ断器の動作を確認する
（感電の原因）

点検とお手入れ(つづき)

年に2〜3回：逃し弁の点検

水漏れ点検と動作点検を行います。

水漏れ点検

沸き上げをしていないとき、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認する

水（お湯）が出ていなければ正常です。
水が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、配線用しゃ断器または漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にして据付工事店（販売店）にご連絡ください。

動作点検

長い間ご使用になりますと、水アカ、ゴミ等が弁の部分に付着し、弁が閉まりきれずに水漏れすることがあります。そうならないよう、定期的に洗い流してください。

手順は、次の通りです。
(1) レバーを2〜3度上げ下げして、水またはお湯を流してください。
(2) レバーを元に戻して、弁を閉めてください。
(3) 水またはお湯が止まっているのを確認してください。

⚠警告

逃し弁点検時は、逃し弁配水管に手を触れない。
（やけどの原因）

⚠注意

逃し弁の点検をする。
タンクや配管が破裂して、やけどなどの原因になります。

年に2〜3回：タンクのお手入れ

長い間ご使用になりますと、タンクの底に水アカや沈殿物がたまります。
常にきれいなお湯をご使用いただくために、タンクのお手入れをしてください。

手順は、次の通りです。
(1) 温水器の正面にある操作カバーを開けて、漏電しゃ断器を「OFF」にしてください。
(2) 温水器専用止水栓を閉めてください。
(3) 逃し弁のレバーを引き上げてから、排水栓を開けてください。
（熱湯が出てくる場合がありますので、ご注意ください）
(4) 1〜2分たった排水栓を閉めて、止水栓を開けてください。
(5) しばらくして排水口からお湯が出始めたら、レバーを元に戻してください。
(6) 漏電しゃ断器を「ON」にして、操作カバーを閉めてください。

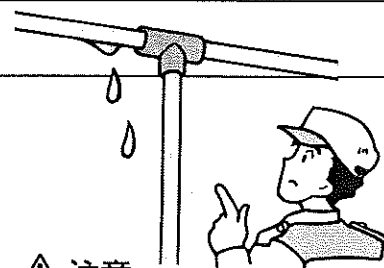
⚠警告

排水時はお湯に手を触れない
（やけどの原因）

配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。
水漏れが生じている場合は、据付工事店（販売店）にご連絡ください。
特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行ってください。
破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

お願い

●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、温水器専用止水栓を閉じ、配線用しゃ断器または漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

⚠注意

配管を点検する。
マンションなど、中、高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

定期点検のおすすめ(有料)

電気温水器を長年にわたり安心して快適にご使用いただくために、定期点検をおすすめします。
（有料）

●定期的に交換が必要な部品や設置条件や使用条件、特殊環境によって部品交換が必要なものは、有料で交換します。
●お申し込みは、据付工事店（販売店）にお申し出ください。

定期点検の主な内容

項　目	内　容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検
清　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など） 減圧弁のフィルターの清掃 ヒーターのスケール清掃

消耗部品の交換

下記の部品は消耗品です。
交換の際は、当社純正部品をご指定ください。

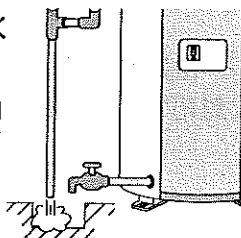
〈消耗部品〉

●逃し弁　●減圧弁　●ヒーター　●ヒーターパッキン

故障かなと思ったら

こんなときは故障でありません

通電中に膨張排水口から水（湯）が出ている

「通電中」が点灯中は、タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して膨張水排水口より徐々に水が出ますので故障ではありません。

リモコンの時刻表示が 88:88 で点滅している

2時間以上の停電がおこった場合には、この様な表示になりますので9ページの「時刻を合わせる」に従って現在時刻を設定してください。

深夜通電時間になってもすぐに「通電中」が表示されない

通電制御型温水器は、温度の低下を少なくするために深夜の通電時間になってもすぐ通電しないときがあります深夜の通電時間帯が終了する翌朝に合わせて沸き上げを完了させます。但し、昼間の残湯がある時は、通電終了時間よりも早く沸き上がります。

設定湯温まで沸き上がらない

以下のことを行う、設定温度まで沸き上がらない場合があります。

①夜間時間帯に沸き上げ湯温を上げた場合
②給水水温が13℃以下、残量0の場合
③夜間時間帯中にお湯を使用した場合

エラー表示

リモコンの時計表示部が次のような場合は異常でありません。症状を確認して「お客様で対応」してください。お客様で対応しても表示が消えないときは、すみやかに据付工事店（販売店）にご連絡ください。

表示		異常内容	処置（お客様で対応）
リモコン	本体操作部		
P:40	————	温水器の湯切れです	沸き増しを行うか、翌朝まで待ってください
P:42	水位低下点滅（赤色）	タンクに水がありません	温水器のタンクを満水にしてください（→8ページ）
		温水器専用止水栓が閉じています	温水器専用止水栓を開いてください（→8ページ）
		断水しています	断水が終わるまで待ってください
		吸水管が凍結しています	温水器専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください
P:00	————	ヒーター電源用200Vが25時間以上連続してOFFのため湯沸かしできない	配線用しゃ断器と本体の漏電しゃ断器を「ON」にしてください(→7·8ページ)

下記のエラー表示の場合は異常です。すみやかに据付工事店（販売店）にご連絡ください。

●リモコンの時計表示部

表示	異常内容	処置
P:01 ∫ P:10	温水器の湯沸かし部品の異常です	据付工事店（販売店）へご連絡ください。

●温水器本体操作部の表示灯

表示	異常内容	処置
温度異常点灯（赤色）	温水器の湯沸かし部品の異常です	据付工事店（販売店）へご連絡ください。

故障かなと思ったら

販売店や据付工事店に修理をご依頼される前に、起こっている現象別に、次のようなことを、まず調べてみてください。
温水器は正常に動いていても、何か別の原因があって、故障しているように思える場合があります。調べてみても原因がわからない場合や、下の表の通りに対応されても直らない場合は、販売店や据付工事店に、点検・修理をご依頼ください。

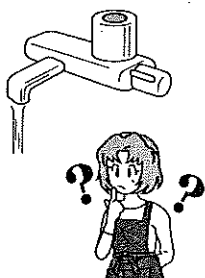
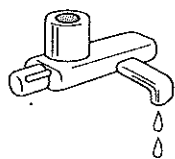
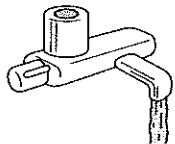
こんなとき	調べること	処置方法
お湯が沸かない（給湯栓からは水が出てくる）	リモコンで運転停止日数が設定されていませんか（1～15の数値が表示されていませんか）	14ページの「運転停止日数の設定」の項を参照して、運転停止日数を解除してください。
	リモコンの時刻表示が点滅していませんか	点滅のままではお湯が沸きませんので、時刻を設定してください。（→9ページ）
	温水器点検窓の中の漏電しゃ断器が「OFF」になっていませんか	なっているなら「ON」にしてください。（→5ページ） ※もし、漏電しゃ断器が何度でも切れるようなら、点検をご依頼ください。
	温水器用の配線用しゃ断器が、「OFF」になっていませんか	なっているなら、「ON」にしてください。（→7ページ）
お湯が出ない（給湯栓からは水も出ない）	温水器用の止水栓が、閉まっていませんか	開いていないなら、開けてください。（→7ページ）
	断水していませんか	断水中は、お湯が出ませんので断水が終わるまでお待ちください。
湯温が低い	湯沸かしが自動になっていませんか	自動運転にすれば、お湯がいつも余る場合は、設定温度を順次下げていきます。 熱いお湯が必要なら、手動運転にして、現在よりも高い温度に設定してください（→10ページ）
	設定温度が低すぎるのではありませんか	もっと高い温度に、設定変更してください。（→10ページ）
	深夜時間帯中に、お湯を使用されていませんか	そのような場合は、沸き上がらないことがあります。深夜時間帯中には、なるべくご使用にならないでください。「季時別電灯／時間帯別電灯」契約でご利用の場合は、沸き増しを行ってください。（→11ページ）

「深夜電力通電制御」型でご契約の場合は、沸き増し利用はできません。「季時別電灯／時間帯別電灯」に契約変更し、リモコン（別売）を接続すれば沸き増しを利用して、お湯の不足を解消できます。契約については、据付工事店（販売店）又は最寄りの電力会社にご相談ください。

故障かなと思ったら(つづき)

故障かなと思ったら

次の項目にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、
お買い上げの販売店へご相談ください。

こんなとき	調べること	処置方法
お湯が足りない	お湯の使用量が、いつもより多くありませんか	温水器は貯湯量が決まっていますので、使い果たすと水しかでません。もっと高い温度に設定できるなら、設定変更してください。 (→10ページ)
	設定温度が低過ぎるのではありませんか	もっと高い温度に設定変更してしてください。 (→10ページ)
	毎日の使用湯量が大きくばらつくのに、湯沸かし自動運転に設定されていませんか	手動運転にして、現在よりも高い温度に設定してください。 (→10ページ)
お湯が出が悪い	定期点検は行っていますか	減圧弁の劣化およびストレーナのつまりが考えられます。清掃・部品交換は、販売店や据付工事店にご依頼ください。
	他の場所でも同時に、お湯を使っていませんか	何カ所も同時に使うと、1ヵ所当たりの流量は少なくなります。他の場所のお湯をしばらく止められるなら、止めてください。 ※お湯の流量は、温水器設置場所や配管の口径、器具の種類等により、ほぼ決まってしまいます。1ヵ所だけ出しても流量が少ない場合は、次の機会に工事をやり直されることをおすすめします。
汚れたお湯が出る	断水や水道工事はありませんでしたか	水をしばらく流して、きれいになってから、ご使用ください。
	定期的なタンクのお手入れは行われていますか	18ページの「タンクのお手入れ」の項を参照して、タンクのお手入れを行ってください。
逃し弁からお湯がもれる (湯沸中にもれるのは、正常です)	弁にゴミか何かはさまっていませんか	18ページの「逃し弁の点検」の項を参照して、逃し弁の洗浄をしてください。

保証とアフターサービスについて

1.保証について

●この製品に保証書がついています。
●保証書はお買い上げ日や販売店（据付工事店）名などの所定事項の記入を確かめて販売店よりお受け取り、大切に保存してください。
●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容をご利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

2.保証期間

●保証内容及び保証期間は、保証書に記載してあります。

3.補修用性能部品の保有期間

●この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後10年間保有しています。
（性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です）

4.アフターサービス

●アフターサービスは、販売店、または、据付工事店が行います。

5.保証期間中の修理

●保証期間中の修理については、保証書を提示してください。

6.保証期間後の修理

●販売店（据付工事店）にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、お客さまの要望により有料修理をいたします。

7.ご連絡いただきたい内容

品　名	電気温水器
品　番	
お買い上げ日	年　　月　　日

●故障の状況、できるだけ具体的に。
●ご住所、お名前、電話番号、訪問希望日。
※品番は、本体の銘板に記載されています。